馬耳東風

最近，また，次から次へと大臣の言動が問題を引き起こしており，内閣の信頼性が地に落ちた感があるが，これに対する憤慨には免疫はできそうにない．それについて書くのもまた不愉快極まりない．ゲーテは「世の中から逃れるには，芸術に拠るのが最も確かである」と述べている．そこで頭を切り替えて，美術の世界で遊んでみることにした．時間的に少し余裕ができた今，時々展覧会場へ足を運ぶ．流行を追う訳ではないが，自分の感性に合う画家の作品展あるいは海外の大きな美術館の所蔵品展などを鑑賞した後の満足感と余韻は何物にも代えがたい．先般，六本木の国立新美術館で，演劇のポスター製作で一躍，アール・ヌーボーの旗手となった「アルフォンス・ミュシャ展」を観た．ミュシャについては洗練された色彩と構図で官能的な女性を描く画家という印象を持っていたが，昨年，プラハでミュシャ美術館を観て，その作品の精神性の高さに，彼に対する認識が大きく変わった．今回，その強烈な印象を胸に，彼の代表作と言われる「スラヴ叙事詩」の連作を観たが，これにも圧倒され言葉を失った．今回，初めて海外展示されたという全20枚から構成される「スラヴ叙事詩」はミュシャが「スラヴ民族の歴史的に重要な出来事を描くことにより，未来の世代に清廉，勇敢，理想主義及び信念を教えること」を意図として描いたという大画面の作品である（最大の絵は6.1×8.1m）．この展覧会は会場への入場制限が実施されるほど人気があり，会期中に66万人以上が鑑賞したという．近年，大型の展覧会では入場制限が実施されることが多いが，1時間以上も待たされることもある．それにしても暇で元気な女性が多いなあと苦笑しながら，長い時間と莫大な経費をかけて開催に漕ぎ着けた主催者の苦労にふと思いを馳せることがある．

「ミュシャ展」は国立新美術館とプラハ市，NHKそれに朝日新聞が協催した大型企画展であった．その収支については知る由もないが，全員が入場料1,600円を払って鑑賞したと仮定すると入場料収入のみで約10億円，それに図録を含めた種々な商品の売り上げを加えたものが全収入となる．一方，経費としては作品借用料，輸送費，保険料，図録作成費，展示関係費などがおもなもので，海外の美術館から作品を借用する場合，経費は高騰する．保険料は作品の時価総額の0.3%程度と言われ，名画1点で時価数百億円ともなれば，保険料負担がかなりの重荷になる．バブル期の頃，日本の企業が買い込んだ印象派を中心とした多くの名画などは今，米国に渡ってしまったと言われる．海外の美術館に頼る展覧会は今後，徐々に質が落ちてゆくのではないかと心配になる．過去には松方，石橋それに大原コレクションのように美術を愛した財界人が集めた絵画を基礎に美術館が建設され日本の文化財となった．ところが今の政治家，財界人などは美術品を愛し，所蔵し，美術館を建てて公開しようと考えている人がほとんどいないと美術関係者は嘆く．むしろ，地方には規模は小さいがそのような美術館が多くある．美術品は，実生活に直接役立つものではないが，それを身近に置くこと，あるいは鑑賞することで精神的な安定感が得られ，また活力源ともなる．日本を覆う社会の停滞感は単に経済力が落ちたというより日本の精神風土の力，文化力が落ちているためではないかと美術関係者は言う．政治家は芸術に目覚めるべし．

（青）